

2015年6月4日 17時半配信

**情報解禁日：6月5日 10時**

解禁日以降の報道にご協力をお願いいたします

報道関係 文化・音楽ご担当者  
音楽ジャーナリスト／関係者 各位

ワレリー・ゲルギエフ指揮 東京交響楽団  
チェスキーナ洋子 メモリアルコンサート 開催

世界のクラシック音楽・文化芸術に多大な貢献を果たした故・チェスキーナ洋子氏。東京交響楽団ハーブ奏者を経て、1960年、戦後初の公費留学生としてイタリア・ヴェネツィア音楽院に留学、資産家のレンツォ・チェスキーナ氏と結婚し、巨額の遺産を文化芸術の支援へ注ぎました。東京交響楽団は、チェスキーナ氏より2011年東日本大震災時の復興支援、2007年と2012年のゲルギエフ氏の招聘、2004年のイタリア・トルコツアーで楽団の活動を支えていただきました。

今年1月ローマ市内の病院にて逝去したチェスキーナ氏を偲んで、氏が長年にわたり親交を深めた世界的指揮者ワレリー・ゲルギエフと東京交響楽団による追悼コンサートを開催いたします。ぜひ広くご紹介いただけますようお願い申し上げます。

【公演情報】

ワレリー・ゲルギエフ指揮東京交響楽団  
チェスキーナ洋子 メモリアルコンサート

<日時・会場>

2015年8月5日(水) 午後7時開演 サントリーホール

<出演>

ワレリー・ゲルギエフ(指揮) 東京交響楽団

<内容>

- 第1部 ゆかりの方々からの追悼の言葉 (ワレリー・ゲルギエフ氏、他)  
第2部 ワレリー・ゲルギエフ指揮、東京交響楽団による追悼演奏  
チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調「悲愴」作品74

<チケット料金>

全席指定 5,000円

<チケット発売日>

2015年7月10日(金) 一般発売

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

<チケットご予約・お問合せ>

■TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511(平日 10:00~18:00 土日祝休み)

■TOKYO SYMPHONY オンラインチケット <http://tokyosymphony.jp>

<プレイガイド>

◎ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040 [www.japanarts.co.jp/](http://www.japanarts.co.jp/)

◎サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

◎チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/tso/>

◎イープラス <http://eplus.jp/tokyoso/>

主催:公益財団法人東京交響楽団

協力:ジャパン・アーツ 公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会 ACT4

後援:ロシア大使館 ロシア連邦交流庁

【プロフィール】

チェスキーナ・永江洋子(チェスキーナ・ながえ・ようこ)

熊本県生まれ。熊本県立第一高等学校、東京芸術大学ハープ科卒。東京交響楽団ハープ奏者を経て、1960年戦後初の公費留学生としてイタリア・ヴェネツィア音楽院に留学。資産家のレンツォ・チェスキーナ氏と結婚し、巨額の遺産を文化芸術に費やした。東京交響楽団へは、2007年と2012年ゲルギエフ氏との共演(2012年は東日本大震災復興支援チャリティー・コンサート)、2004年のイタリア・トルコツアーへのサポートなど多大なサポートを行った。2012年2月には、農林水産省共催のもと、「復興音楽祭」～東日本大震災復興支援チャリティー・コンサート～ワレリー・ゲルギエフ指揮東京交響楽団公演の実施にも尽力した。出身地でもある熊本では、数々の世界的なメセナ活動から熊本県近代文化功労者に顕彰され、翌年2014年にはワレリー・ゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団の熊本公演も行った。N響のヨーロッパツアー、米国ツアーへの実現にも尽力した。その他にも大分県の別府アルゲリッチ音楽祭やベネズエラのシモン・ボリバル・ユース・オーケストラ来日公演などを通じ、日本とは常に密接な関係を持ち続けた。とりわけゲルギエフやマゼールら、世界的な指揮者たちとの親交が深く、ロシア・マリンスキー劇場に隣接する新劇場やコンサートホールの建設、ニューヨーク・フィルの北朝鮮公演などにも多大な貢献を果たした。2015年1月10日ローマ市内の病院にて逝去。

ワレリー・ゲルギエフ Valery Gergiev 指揮

マリンスキー劇場芸術総監督、首席指揮者。ロンドン交響楽団首席指揮者。サンクトペテルブルグ大学芸術学部学部長。チャイコフスキー国際コンクール組織委員会委員長。エジンバラ国際フェスティバル名誉総裁。「白夜の星」音楽祭(サンクトペテルブルグ)、ロッテルダム・フィルハーモニー・ゲルギエフ音楽祭(オランダ)、モスクワ復活祭音楽祭などの音楽祭を創設し、芸術監督、音楽監督として活躍。1997年に急逝したサー・ゲオルク・ショルティの後継者として、ワールド・オーケストラ・フォア・ピースの指揮者も務めている。ゲルギエフはマリンスキー劇場において数多くの世界的な名歌手を育成し、音楽界に送り出してきた。その采配のもとで同劇場はオペラおよびバレエのレパートリーを大きく広げ、現在では18世紀から20世紀までのクラシックの傑作をはじめ、現代作曲家の作品にいたるまで、幅広いレパートリーを誇っている。

2006年には、火災に遭ったマリンスキー劇場アトリエ倉庫の跡地に新しいコンサートホールが完成。2013年5月2日には歴史あるマリンスキー劇場に並んで、マリンスキー劇場新館(マリンスキー2)がオープンした。これによりマリンスキー劇場は、ロシア国内では初となる、劇場とコンサートホールを併せ持つ複合施設へと生まれ変わったのである。2009年にゲルギエフによって創設されたマリンスキー・レコーディングレーベルからはすでに25枚以上のディスクがリリースされ、世界中の批評家および音楽ファンから絶賛されている。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO  
SHINJUKU-KU  
TOKYO 169-0073 JAPAN  
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F  
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI  
KANAGAWA 212-8554 JAPAN  
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

ゲルギエフはこれまでに、メトロポリタン・オペラ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座管弦楽団などと共演している。また、ロシア、ドイツ、イタリア、フランス、日本、オランダ、ポーランドの政府からの勲章をはじめ、数多くの賞や勲章(称号)を授与されている。2012年にはモスクワ大学の名誉博士号を贈られた。2013年には、ニューヨークのカーネギーホール主導のもとに創設されたナショナル・ユース・オーケストラ・オブ・アメリカのトップに就任。2015年にはミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任することが決まっている。

### 東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra オーケストラ

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とはパートナーシップ協定を結び、コンサートやアウトリーチ活動を展開しているほか、海外においても53都市71公演を行う。新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。教育面では「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目されている。2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、首席客演指揮者にクシシュトフ・ウルバンスキ、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。2016年には創立70周年を迎える。HP <http://tokyosymphony.jp>

#### 【取材等お問合せ】

公益財団法人東京交響楽団 広報本部／高瀬 [takase@tokyosymphony.com](mailto:takase@tokyosymphony.com)  
TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488